



試験運行されているデマンドタクシー



すぎもり けんじ 杉森 賢二 議員

Q 伊豆半島ジオパーク推進の取り組みを

A 他市町とも連携協力し、町の役割を果たす

ジオパークの推進と町の観光政策は

問 町内のジオ検定受検促進に向けた対策と、学校とのかわりは。

教育推進課長 ジオ検定受検の促進につなげるため、まずは小・中学生が伊豆半島ジオパークの認識を深めることが必要。

チラシの配布依頼など、観光交流協会が企画するプログラムを、学校の実情に応じて協力したい。

問 計画中の鮎壺公園を生かした計画を。

建設計画課長 鮎壺公園整備・下土狩駅周辺活性化ワークショップを開催し、公園と駅周辺の利用

性や活性化に向けたアイデアを出し合っている。今後、整備や管理の計画を作成していく。

問 ウェブサイト、モバイル観光案内サービス、デジタルサイネージ、海外ソーシャルメディアなど、ICTを活用した地域観光サービスの推進を。

産業振興課長 近隣市町の観光ポータルサイトと相互リンクを行うなどの連携によりアクセス向上をはかりたい。今後、観光施設などを整備する際には、公衆無線LANやデジタルサイネージなどの整備を検討したい。

Q 高齢者居場所づくりの支援事業を

A 介護予防できるよう協働して支援していく

協働の地域包括ケアシステム

問 居場所づくり支援事業助成に対する考えは。

長寿介護課長 高齢者の居場所づくりや地域での見守り活動に大きな役割を果たしているシニアクラブ活動のさらなる充実と会員の増加が見込まれ

るよう、シニアクラブに対する補助金の拡充に向け検討していきたい。

問 新たな交通手段「デマンドタクシー」への支援と、今後の町内自治会・シニアクラブとの連携は。

企画財政課長 今般運行するデマンド乗合タクシーは、町内で初めての

公共交通の形態であり、利用者運賃は従前のバス運賃を基本に支援していく。今後、利用状況など

実態を検証しながら、生活の足としてさらに要望が高まることが予想される高齢者の移動手段の確保に向け、関係する方々と協議し、検討を進めていく。

問 市民後見人養成講座の広域実施の考えは。

住民福祉部長 町単独ではなく、長泉町社会福祉協議会や沼津市、沼津市社会福祉協議会と連携し、事業を推進していきたい。

※デジタルサイネージ…ディスプレイなどの電子的な表示機器を使って情報を発信するシステムの総称。電子看板

※デマンドタクシー…運行経路やスケジュールを利用者の事前予約に応じるかたちで運行するタクシー

